

3Dプリンタをはじめとする 次世代ものづくりとしての三次元造形技術

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会では、下記の要領にて研究会を開催致します。今回は世界的に次世代のものづくり技術として注目されている3Dプリンタを含めた三次元造形に関する技術動向を紹介させて頂きたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。

記

- ◆日時：平成25年12月16日（月）13：30～17：45
- ◆場所：名古屋駅前イノベーションハブ 会議室
（名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター 15階）
- ◆定員：35名
- ◆参加：協会会員及び公設機関等に属する方
※席に余裕がある場合は一般参加も受付いたします。（無料）
下記申込用紙をFAXでお送りいただくか、電子メールにて出席される方の氏名、勤務先、所属を明記の上、下記事務局アドレスへ送信下さい。

■ 司会：産業技術総合研究所 イノベーションコーディネータ 渡村 信治

ー13:30 「粉末積層造形法による金属成形装置の開発と応用」

（独）産業技術総合研究所 先進製造プロセス研究部門

上級主任研究員 中野 禪 氏

樹脂3Dプリンタと金属用の装置では、その取扱いや利用の方向性に違いがある。金属では、より生産技術の一部としての位置づけが求められ、量産へ向けた展開が必要である。金属での3次元積層造形をどう生産に生かすか考えたい。

ー14:30 「金属粉末ラピッドプロトタイピングに関する研究と応用」

（地独）大阪府立産業技術総合研究所 加工成形科 主任研究員 中本 貴之 氏

金属粉末ラピッドプロトタイピング(RP)は、工業分野では金型や機械部品の試作・開発や小ロット部品の迅速な製造に活用されている。一方、医療分野においても、本技術はテーラーメイドの各種インプラントを作製できる技術として注目されている。本講演では、鋼系材料のRPにおける造形物の高強度・高硬化技術の開発、および、生体材料であるチタン系材料のRPにおける低弾性率多孔体の開発について紹介する。

ー15:30 ー休 憩ー

ー15:40 「3Dプリンターをはじめとするデジタル技術の陶磁器分野での応用」

佐賀県窯業技術センター 陶磁器部 デザイン担当係長

副島 潔 氏

佐賀県窯業技術センターが長年取り組んできた陶磁器分野におけるデジタル技術の応用に関する研究概要と、地元業界への普及状況について、製品化への技術利用の実例も交えながら紹介する。

ー16:40 「トヨタケーラムによる3Dプリンター活用事例」

（株）トヨタケーラム 営業部 本社第2営業室 第1グループ主任 鈴木大介 氏

今、話題の3Dプリンターですが、実際には多くの種類があります。お客様の目的に応じ、適合機種はそれぞれ異なりますが、トヨタケーラムは多くのソリューション提案の実績がございます。その中でも、今回は3Dプリンターとは何か、3Dプリンターでできること、試作における活用事例をご紹介致します。

ー17:30 名刺交換会 (17:45 終了)

【お問合せ】

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局 (名古屋駅前イノベーションハブ内)

TEL: 052-583-6454 E-mail: aist-chubu-kyokai-ml@aist.go.jp

【会場案内】

名古屋駅前イノベーションハブ

TEL : 052-583-6454 FAX : 052-583-6462

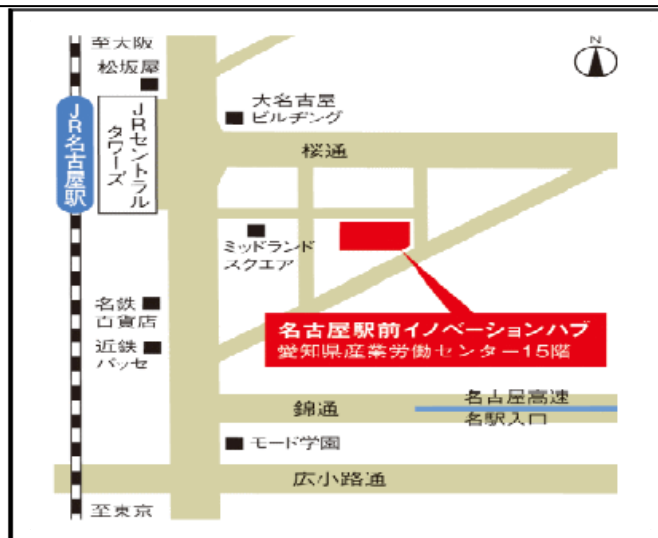
住所 : 〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-38

愛知県産業労働センター 15階

(愛称: ウィンクあいち)

※ 名古屋駅より徒歩5分



産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 平成25年度第2回研究会(12月16日)

「3Dプリンタをはじめとする次世代ものづくりとしての三次元造形技術」

参加申込書

FAX : 052-583-6462

氏名 (代表者)		参加者数	名
勤務先			
部署名		役職	
住所 (連絡先)	〒	TEL: () -	E-mail:

※本申込書に記載される個人情報は産総研コンソーシアム「名古屋工業技術協会」の連絡のみに利用させていただきます。